

事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 松浦 猛 (課長補佐兼基盤整備係長 坊垣 昌明)	内線	4003 (4016)
------	-------------------------	-------------------------	-----------------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	1.9億円
		基盤整備促進事業 【元気な地域づくり交付金】	針ノ木	内用地補償費	0.05億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
南あわじ市中条中筋字針ノ木			H18	H18	H21
事業目的			事業内容		
農地の区画及び道水路整備を行い、農業の生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立を促進する。 事業主体：南あわじ市			区画整理 7.9 ha 工事費の負担割合 [国55% 県17% 市10% 地元18%]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	当地区は、用水源をため池に依存し、水稻のほか飼料作物・玉ねぎ・白菜等を意欲的に生産しているが、現況の農地は不整形の小区画で、道路幅員も狭小であるため、営農効率が悪く、農業従事者にとって多大な労力が負担となっている。 本事業の実施により、機械体系・水管理の合理化を促進し、都市近郊地域の有利性を活かした野菜栽培の拡大と農業コストの縮減を図り、農業生産性の向上と経営の安定化を確保する必要がある。				
(2)有効性・効率性	費用便益比 B/C = 1.14 所得償還率 23.0% であり、事業としての効果が十分に期待できる。 同意率 100% (11戸/11戸)				
(3)環境適合性	排水路の溝畔や法面等に植栽を施し、景観に配慮する。 小動物の生息域保護のため、生態系に配慮した水路を整備する。				
(4)優先性	当地域は、水稻、飼料作物のみならず、国が産地指定する玉ねぎ、レタス、白菜の生産も行っており、食料の安定供給に大きく貢献している地域である。 関連事業の広域農道南淡路地区（オニオン道路）が、平成18年度より着手予定であり、一体的に取り組む必要がある。 県内のほ場整備率75%に対して、地域の整備率が55%（旧緑町）と極めて低く、地域全体の生産基盤の整備が急務である。				